学校番号	１００７

令和３年度　美術科

教科	美術	科目	ビジュアルデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	デザインワークⅡ						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインワークⅠで学んだことを生かし、デザインの意義や働き、パッケージの持つ力などをパッケージデザインや商品開発など通じて追求します。
商品開発では商品のターゲットを考慮したネーミングや色、キャラクター設定などアイデアを出し、創造的な表現に挑戦し、実際にプレゼンテーションボードと作品制作を行い、プレゼンまで行います。

２　学習の到達目標

・商品化するまでのプロセスを、実際にコンセプトを考え制作を行いプレゼンし学ぶ。
・デザインワークⅠで身に付けた自己の表現力と柔軟なアイデアを出せる力を生かし、社会問題などを中心にデザインの役割を考え制作する。
・作品の着想段階から製作段階へつなげる表現力、計画力を身につけ、デザインの役割、必要性を理解し、目的、条件を的確に捉える力をつける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・グラフィックデザインの持つ働きについて理解し、人の心に訴える力があることに関心を持つ ・包むものの形状や特性などから主体的に主題を生成し、パッケージの機能や美しさを考え創意工夫する。	・人に向けて発信するグラフィックデザインの働きを考え主題を生成し、表現の構想を練る。 ・創造的な表現を行うために、形や色彩などの働きを考え、イメージを膨らませ伝えたいテーマの構成を練る	・生成した主題や表現媒体の特質に合わせ、材料や用具、配色の効果を考え、工夫して表現する。 ・目的や意図に応じて材料の特性を生かしたパッケージのデザインを考える	・デザイナーの制作への思いや意図を感じ取り、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて、多様な視点から分析し理解する。 ・鑑賞を行い、パッケージデザインが持つ意義や働きについて理解する
評価方法	作品 制作途中の作品 アイデアスケッチ 企画書 リサーチ プレゼンテーションの準備	作品 制作途中の作品 アイデアスケッチ 企画書 プレゼンテーションの準備	作品 制作途中の作品 アイデアスケッチ 企画書 プレゼンテーション	作品 制作途中の作品 アイデアスケッチ 企画書 リサーチ プレゼンテーションでの発言、感想シート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1		シルクスクリーンによるハンカチの制作	○	◎	◎	○	a:シルクスクリーンによる表現に関心を持つ b:主題をもとに、魅力的な模様やキャラクターを想像したり、構成を考えるなど工夫をしたか。また描画剤など用具の扱いを学び、効果的な表現ができたか c：シルクスクリーンの技術を理解し、工夫して表現出来たか d:テキスタイルデザインについて学び、様々作品を鑑賞し良さを感じ取る	
2		パッケージデザイン 包む素材を考える	○	◎	◎	◎	a:パッケージデザインを制作することに関心を持ち、包むものの形状や特性などから主体的に主題を生成し、パッケージの機能や美しさを考え創意工夫する。 b:主題をもとに、パッケージの素材や特性、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料の特性を生かしたパッケージのデザインを創意工夫し、計画や手順を吟味し、制作の見通しを持って表現している。 d:作品や実際に様々な商品を鑑賞し、良さや美しさ、作者の表現意図と工夫などを感じ取り、特徴を捉えて分析するなどしてパッケージデザインが持つ意義や働きについて理解する	

3 4		マーケティング、商品開発	◎	◎	○	○	a: 計画性をもって主体的に取り組んだ。様々なものに問題意識を持つなど関心を持てたか ｂ：アイデアスケッチやブレームストーミングなどを行い、オリジナリティあふれた発想ができたか ・商品のターゲットを考慮したネーミングや色、キャラクター設定などアイデアを出し、創造的な表現が出来たか ｃ:プレゼンテーションボードの目的を理解し、色や構図など伝わりやすいか工夫できたか。 d:企業などの商品開発についてリサーチする	グループワークの様子を観察 企画書と立案の様子 アイデアスケッチ 制作過程 グループでの役割分担 制作途中の作品 作品 プレゼンテーションボード プレゼンでの発言

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。